

【投票意欲の醸成】 ・ ・ ・ 今回は資料のみ提供

	場 面	現 状	障 壁	取組み例
教 育	【家 庭】	知的障がい者の選挙、投票についての情報がない。家庭での取組みに格差がある。 特に重度になればなるほど、「投票」を考えたことがない。「何もわからないのに選べるのか、選んだと言えるか？」という心情が根強くある。	<ul style="list-style-type: none"><li>・公選法上、知的・発達障がい者への配慮の歴史が短い。</li><li>・投票に対する知識（代理投票等の仕組みを知らない）がない。</li><li>・選挙に関しての認識を変えられない。</li><li>・一人で移動が困難</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・支援があれば投票できることや、安心して投票できることの情報を発信したDVDを見せる。</li></ul> 重度でも可能な例を示す。作業所で一緒に投票に出かける方法が有効。
	【学 校】	選挙、投票を教える素地がそもそもない。 公民を教えられる先生が少ない。 選択することは学んでも、政治・選挙に結びつけていない。	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育と政治の線引きが厳しい。</li><li>・知的・発達障がい者への投票支援マニュアルがないため教えられない。</li><li>・何を教えて良いかわからない</li><li>・事例がない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・18歳に選挙年齢が引き下げられたことで取り組む学校が増えた。</li><li>・新学習指導要領では主権者教育を取り上げることになり、DVDを使って学ぶ学校も増えた。</li></ul>

【投票候補の選定】

		場面	知的障がい者の特性	障壁	取組み例
情報	新聞	【選挙公報紙】 大量の情報が文字媒体で提供	文字だけでは理解が難しい。 情報が多すぎると、理解できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報が多すぎる。</li> <li>・文字が読めない。</li> <li>・専門用語がわからない。</li> <li>・表現がむずかしい。</li> <li>・ルビ等の配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定した情報の提供</li> <li>・情報を極力抑え、わかりやすい 広（公）報紙の開発</li> <li>・顔写真、ルビ、政策等決まったフォームでの提供</li> <li>・わかりやすい広報紙の作成</li> </ul>
		【TV政見放送】 【新聞】	長い時間見続けることが苦手 難しい言葉が苦手 早口だと聞き取れない。 文字だけでは理解が難しい。 視覚優位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瞬間に消えて流れてしまう情報は、記憶しにくい。</li> <li>・情報が多すぎると、理解できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定した情報の提供 →繰り返し見たい時に見られるよう候補者に動画を作成してもらう。</li> <li>・写真、イラスト等で分かりやすくする。</li> </ul>
	アフタースタッフ	【意思決定】 候補者の中から選ぶ	日常の中で意思決定が極めて少ないので慣れていない。支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の意思が外からはわかりにくい。</li> <li>・本人、支援する人たち（親も含む）も気づきにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「意思のない人はいない」という共通認識・スタンスに立つ。</li> <li>・選択しやすい情報の提供 →わかりやすい広報紙の発行、わかりやすい演説会の開催</li> <li>・意思の表出しやすい環境を作る。 →投票所の工夫</li> <li>・当事者の体験、受け手の体験の場を作る。→模擬投票の実施</li> </ul>

【実際の投票行為】

		場面	知的障がい者の特性	障壁	取組み例
投票	共通事項	投票の流れ	見通しを立てることが苦手 奇声を発する、走り回る、その場から動けなくなる（固まる）	<ul style="list-style-type: none"> <li>流れを理解できない。</li> <li>パニック（混乱）になりやすい</li> <li>初めての場所が苦手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援カードを配布して事前に学習</li> <li>DVDで確認</li> <li>一度投票所を出てクールダウンする。</li> </ul>
		選挙人名簿の対照（本人確認）	意思疎通が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼びかけに回答できない。</li> <li>生年月日等を求められても答えられない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>模擬投票で経験する。</li> <li>家庭や学校で指導する（呼びかけ）。</li> </ul>
		投票用紙記載	自書が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>氏名等掲示情報が文字だけで確認できない。</li> <li>緊張で手が震える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代筆が可能とわかるだけで安心</li> <li>選挙公報で再考する。</li> <li>従事者が記載台を押さえる。</li> </ul>
		投函	細かい動作が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊張で手が震える。</li> <li>投函できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投函の際、従事者が手を添えるだけでスムーズな投函が可能</li> </ul>
	代理投票	代理投票の申請	意思疎通が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援カードが申請書を兼ねている。</li> </ul>
		代理投票の案内	「初めての人」「知らない人」が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援者と判別できない（不安）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腕章を付けて補助者であることを明確に。</li> </ul>
		選挙人の指示	意思疎通が苦手	<ul style="list-style-type: none"> <li>しゃべれない伝えられない</li> <li>字が読めない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前にメモ書きを用意する。</li> </ul>
		投票場所	一人で行けない	移動に支援が必要	作業所等で期日前投票に連れて行く